

愛すべきまちを創る委員会 事業計画

愛すべきまちを創る委員会 委員長 泉 聡太郎

それぞれの地域や人等バラバラになっている市民活動を繋ぎ直す事で地域社会を創り上げていく一步を踏出しまちのコミュニティー全体の意識へと昇華させ一体となって自発的に行動する環境を整備していかなければなりません。我々は、メンバー同士互いに情熱を持って研鑽し合い、市民一人ひとりに利他のこころを醸成させていく事で、地域コミュニティーがより強い絆で結びつく市民主体のまちづくりを行っていく事を目的といたします。

まずは、『夜・梅・祭』において、一泊型観光都市を目指す為に、他団体と連携し、まち全体における回遊性を持たせ水戸の魅力を広く感じてもらう事で、まちの活性化を進めます。そして、更なる事業発展の為に、過去の検証を確り行なった上で計画的な移管を見据え、参加者自らがより積極的に関わる機会を創る事で、共に創るまちづくりの喜びと重要性を伝えます。さらに、日本青年会議所褒賞エントリーを行い、我々の事業を広く発信し、有益な情報を得られる機会を創る事で、今後のLOM運動に繋げていきます。また、有事の際の具体的に実現可能なシステムを創りあげる為に、他団体と協議を持ち、防災協定の作成・締結を行い、まちの安心・安全の一助にします。そして、地域社会と共生し、まちの安全に寄与しうる中心的存在であり続ける為に、茨城ブロックと連携を強める事で、まちの復興を促進させます。さらに、諸団体と連携しキャンドルナイトの支援を行い、運動の環を拡げていく事で、市民の自主性を高めてまいります。また、水戸検定において、郷土愛を醸成し、水戸の誇りを広く発信する事で、水戸のブランド力の向上を図ります。

よりまちに関心を持たせ、市民一人ひとりのまちづくりへの意識を昇華させ伝播していくことで、自発的に行動できる市民が増え、市民活動は一つの方向に加速度的に進んでいき、他人事にならない自らの地域は自らの手で創る市民主体の自立した強い地域を創造します。

[事業計画]

1. 『夜・梅・祭』の検証
2. 『夜・梅・祭』企画及び実施
3. 『夜・梅・祭』実行委員会の移管検討及び調整
4. 日本青年会議所褒賞事業へのエントリー
5. 防災協定の作成・締結
6. 茨城ブロックとの連携推進
7. キャンドルナイトの支援

8. 35 水戸検定の実行委員会立ち上げ・運営

9. 会員拡大の推進

10. 出向者支援及び各種大会への参加